

平成20年3月期
ミニディスクロージャー誌

第36期 営業のご報告
(平成19年4月1日～平成20年3月31日)



みちのく銀行からの
お知らせです。

Michinoku Bank

MINI DISCLOSURE 2008.3

みちのく銀行

プロフィール(平成20年3月31日現在)

名称	株式会社 みちのく銀行
設立	大正10年(1921年)10月27日
本店所在地	青森市勝田一丁目3番1号
資本金	241億67百万円
従業員数	1,246名
店舗数	国内：本支店101、出張所5 海外：駐在員事務所1〈上海〉
主要勘定	預金残高……………1兆7,324億円 貸出金残高……………1兆2,599億円 有価証券残高……………4,256億円 自己資本比率…11.11%(連結ベース/国内基準)



取締役頭取

杉本 康雄

皆さまには、平素よりみちのく銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、当行へのご理解を深めていただくために、「平成20年3月期ミニディスクロージャー誌/第36期営業のご報告」を作成いたしましたので、ご一読いただければ幸いに存じます。

平成18年4月より取り組んでおります「第一次中期経営計画(平成18年4月～平成21年3月)」も最終年度を迎えております。引き続き、中期経営計画で掲げる「地域最優の銀行」の実現に向け、「収益力の強化」、「経営効率化」、「資産内容の健全化」、「人材育成とCSR活動」に取り組んでまいります。

なお、株主の皆さまへの一層の利益還元を図るべく、平成20年3月期以降の年間配当金(普通配当)については、1株当たり1円増配の6円を予定しております。併せて、自己株式の取得および消却を行うことにより、総合的な株主還元策を実施しております。

私どもみちのく銀行は、役職員一丸となって地域の皆さまに親しまれ、真にご満足いただけますよう誠心誠意取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

第一次中期経営計画

● 「地域最優の銀行」を目指して

当行は、平成18年4月から平成21年3月までの3ヵ年における経営計画として、「第一次中期経営計画」を展開しております。

本計画においては、その基本方針（目指すべき銀行像）として、

地域において圧倒的な存在感を持つ「地域最優の銀行」

を掲げております。当行が作り上げたい「地域最優の銀行」とは、次の3つを備えたものです。

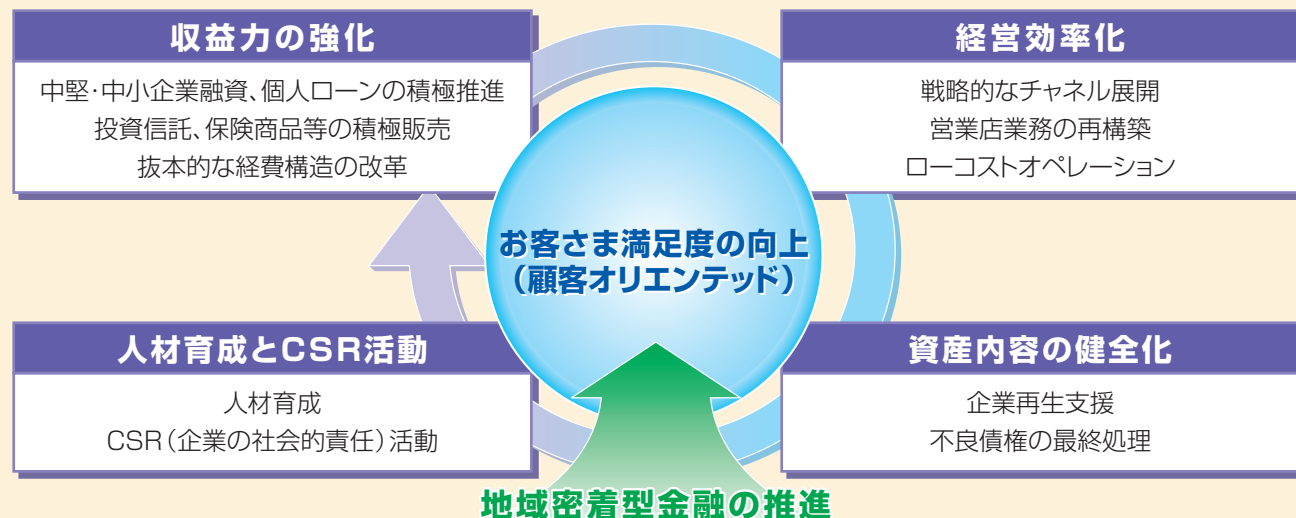
地域で最もお客さまの
満足度が高い銀行

地域発展のために
貢献していく銀行

職員がいきいきと働く
活力のある銀行

重点方針

「第一次中期経営計画」では、お客さま満足度の向上（顧客オリエンテッド）を念頭に置き、地域密着型金融の推進をベースに、「収益力の強化」「経営効率化」「資産内容の健全化」「人材育成とCSR活動」の4項目を重点方針として、これに取り組んでおります。



目次

ごあいさつ……………1	資産健全化への取り組み……………5	財務諸表
第一次中期経営計画……………2	CSR(企業の社会的責任)への取り組み…6	単体財務諸表……………12
業績ハイライト	個人のお客さまのために……………8	連結財務諸表……………13
収益・自己資本比率の状況……………3	法人・事業主のお客さまのために……………9	株式の状況・株式のご案内……………14
預金・預かり資産 / 貸出金の状況……………4	トピックス……………11	

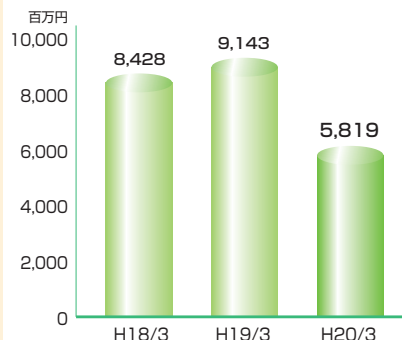
業績ハイライト

収益・自己資本比率の状況

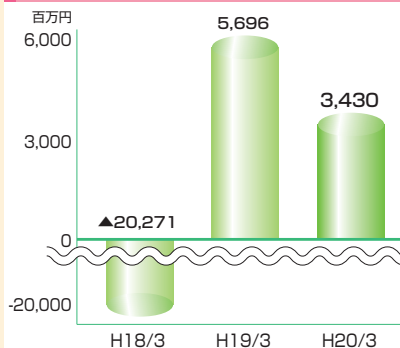
コア業務純益は、貸出金利息が増加したものの、有価証券利息の減少や預金利息の増加による資金利益の減少に加え、役務取引等利益が減少したことにより、前期比33億円減益となる58億円となりました。

また、有価証券関係損益の増加等により、経常利益は前期比22億円減少して34億円、当期純利益は前期比28億円減少して19億円となりました。

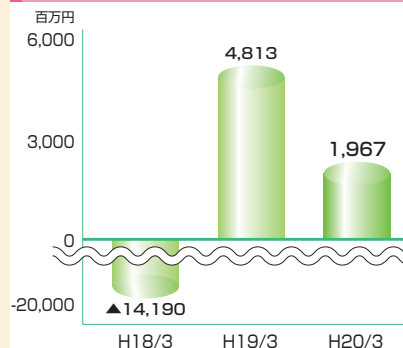
コア業務純益



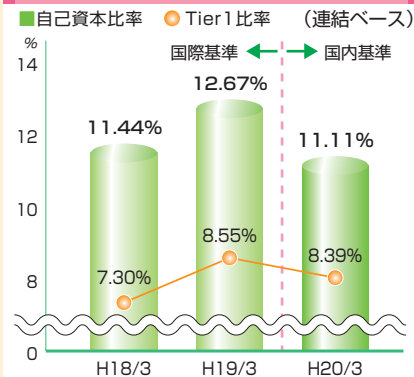
経常利益



当期純利益



自己資本比率



経営健全性の指標である自己資本比率は、連結ベースで11.11%、単体ベースでは11.12%と、引き続き十分な健全性を確保しております。

なお、平成20年3月期より国内基準により算出しております。

注)平成19年3月より適用が義務づけられている新しい自己資本比率規制であるバーゼルIIに基づいて算出しております。

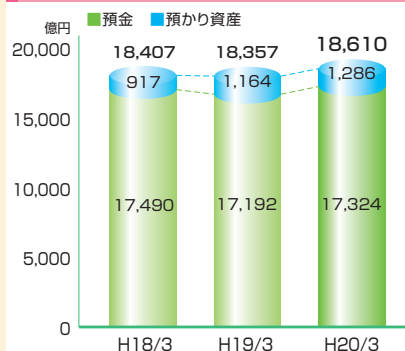
預金・預かり資産の状況

預金は、前年度末比132億円増加して1兆7,324億円となりました。

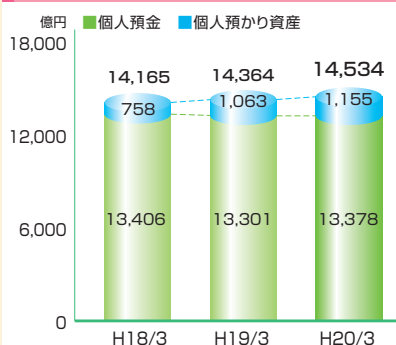
個人のお客さまの預金・預かり資産の合計残高は、預金、公共債、年金保険の増加により、前年度末比170億円増加の1兆4,534億円となりました。

主力営業基盤の青森県・函館地区における預金は、預金全体に占める割合が91.1%となっております。

預金・預かり資産残高



個人預金・個人預かり資産残高



預金に占める青森県+函館地区預金残高の割合

預金残高 1兆7,324億円

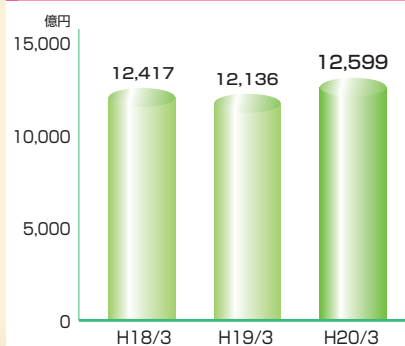


平成20年3月末

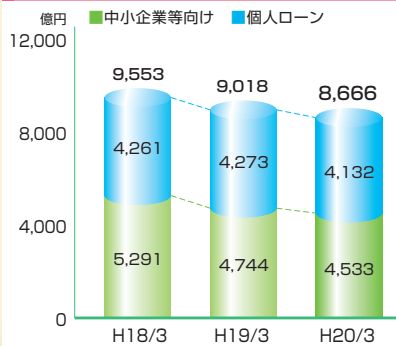
貸出金の状況

貸出金は、住宅ローンを中心に個人ローンが減少したものの、一般貸出の増加により、前年度末比463億円増加して1兆2,599億円となりました。

貸出金残高



中小企業等向け・個人ローン貸出金残高



貸出金に占める青森県+函館地区貸出金残高の割合

貸出金残高 1兆2,599億円



平成20年3月末

資産健全化への取り組み

金融再生法開示債権は、前年度末比74億円減少し、対象債権に占める開示債権の比率は、前年度末比0.81ポイント改善しております。

今後も、不良債権発生抑制や、再生および最終処理に向けた取り組みのために、審査・管理体制の強化を図ってまいります。

与信関連資産に占める各債権の割合

対象債権合計 1兆2,798億円

対象債権全体の5.72%程度におさまっております

破産更生債権及びこれらに準ずる債権
1.54% (197億円)

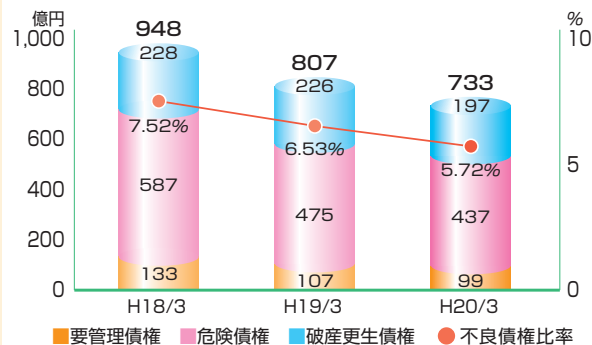
危険債権
3.41% (437億円)

要管理債権
0.77% (99億円)

正常債権
94.27%
(1兆2,065億円)

平成20年3月末 (金融再生法基準)

金融再生法に基づく開示債権の推移



金融再生法開示債権の保全状況

(平成20年3月末)
単位:億円

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	197	197	170	27	100.0%
危険債権	437	429	300	128	98.2%
要管理債権	99	87	58	27	87.4%
計	733	713	529	183	97.2%

※債権回収の危険度合いなどに応じて、次の4種類に区分しております。

- **正常債権**：財政の状態や経営成績など、特に問題のない取引先に対する債権。
- **要管理債権**：3ヵ月以上延滞債権および貸出条件を緩和した取引先に対する債権。

- **危険債権**：まだ、経営破綻には陥っていないが経営難の状態にあり、正常な返済が出来ない可能性の高い取引先に対する債権。
- **破産更生債権及びこれらに準ずる債権**：経営破綻状態にある取引先に対する債権。

CSR(企業の社会的責任)への取り組み

コーポレートガバナンス、コンプライアンスへの取り組み

●コーポレートガバナンス

当行が永続的に成長・発展していくためには、経営環境の変化に対応しながら、経営効率の向上、経営の健全性を確保していくことが重要であると認識しております。継続的にガバナンス体制を強化、整備するとともに、その方針が当行内部において浸透し、実践されるよう内部統制を強化しております。

●コンプライアンス

当行では、コンプライアンスを経営の最重要課題と位置付け、健全な経営を維持・向上させていくために、コンプライアンスに関する取り組み方針、運営体制を定め、役職員の共通認識の下、徹底した取り組みを実践しております。

積極的な情報開示への取り組み

お客様や株主の皆さま、そして地域の皆さまといったステークホルダーの方々に当行の経営状況をご理解いただくために、積極的な情報発信に努めております。



IR説明会開催(東京)

お客様へのサービス向上に向けた取り組み

●CS(お客様満足度)向上運動



「象の耳(お客様の声)カード」をはじめとした各種アンケート等の実施を通じ、お客様の声(ご意見・ご要望等)を幅広く吸収するなど、「CS(お客様満足度)向上」に向けた各種取り組みを積極的に行っております。

●CSアワード(平成20年2月導入)

「CSアワード」は、お客様より寄せられた満足の声に携わった職員を表彰することで、職員のモチベーションアップおよび接客マナーのレベルアップを図り、お客様へのサービス向上に繋げていくための運動です。



CSバッジ

情報開示スケジュール

- 5月 決算発表
- 6月 IR説明会開催(東京)・有価証券報告書提出・ミニディスクロージャー誌発行
- 7月 ディスクロージャー誌発行・第1四半期決算発表
- 8月 第1四半期報告書提出
- 10月 アニュアルレポート発行
- 11月 中間決算発表・半期報告書提出
- 12月 中間ミニディスクロージャー誌発行・IR説明会開催(東京)
- 1月 中間ディスクロージャー誌発行・第3四半期決算発表
- 2月 第3四半期報告書提出



社会貢献活動への取り組み

● 「財団法人みちのく・ふるさと貢献基金」の活動

「財団法人みちのく・ふるさと貢献基金」(基本財産10億円)は、地域振興および地域貢献活動を行っている個人、団体、企業への助成金等の支援を目的に、平成19年7月に設立しております。

助成事業の内容は、「地域振興」「教育・福祉・環境」「育英奨学」となっており、地域の発展に寄与するために皆さまを継続的に支援してまいります。



お問合せ先：財団法人みちのく・ふるさと貢献基金 事務局
Tel. (017) 774-1179

● 地域の芸術・スポーツ振興・伝統芸能の継承

地域の芸術、スポーツ振興、伝統芸能の継承などを目的に、各種支援を行っております。

【主な支援活動】

- 第15回 青森県民駅伝競走大会
- 第5回 弘前・白神アップルマラソン
- 第17回 みちのく銀行ファミリーコンサート
「日本フィルハーモニー交響楽団演奏会」
- 第8回 ちびっこ手踊り王座決定戦



みちのく銀行ファミリーコンサート



青森県民駅伝競走大会

● 地域の祭り・イベントへの参加

青森ねぶた祭をはじめとする各地で開催される祭り・イベントに積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を図っております。



青森ねぶた祭

環境保全への取り組み

青森県の美しい自然環境を次の世代に引き継ぐために、環境保全への取り組みに関する国際規格である「ISO14001」の認証を、本部および全営業店で取得し、認証の登録を維持・管理しております。



当行職員への取り組み

当行では「職員がいきいきと働く活力のある銀行」を作り上げるために、雇用環境の整備や積極的な人材登用を行う体制整備に努めております。

● 新人事制度 (平成19年10月導入)

若手層から中高年層までの全ての職員が、自らの能力を最大限に発揮出来る新人事制度を導入しております。

● 嘱託から行員への登用 (平成18年4月導入)

豊富な業務スキルと高い業務意欲を持った嘱託を積極的に行員へ登用し、人材の活性化を図っております。

● 再雇用制度 (平成18年4月導入)

定年退職者の豊富なキャリア、スキルを活かしてお客さまへのサービス向上に繋げるために、継続雇用(再雇用)制度を実施しております。

個人のお客さまのために

個人専門店の拡大

筒井支店に加え、平成20年2月に松森町支店を、3月に根城支店を「個人専門店」としてリニューアルオープンいたしました。「個人専門店」では、個人のお客さまに関して、豊富な知識・経験を備えたスタッフが、個人のお客さまの様々なニーズにお応えしております。



松森町支店

また、資産運用や年金相談など各種セミナーも開催しております。

「個人専門店」は、今後も順次拡大していく予定です。

- ・筒井支店（青森市） Tel.(017)738-3344
 - ・松森町支店（弘前市） Tel.(0172)35-1210
 - ・根城支店（八戸市） Tel.(0178)47-8800
- 営業時間 平日9:00～17:00

※ただし、15:00～17:00までは相談業務のみとさせていただきます。

住宅ローンセンターの強化

「住宅ローンセンター」は住宅ローン専門のアドバイザーが、住宅関連業者さまや個人のお客さまのご都合に合わせて訪問し、お客さまのニーズにスピーディーに対応しております。

「住宅ローンセンター」は、今後も順次、拠点を拡大していく予定です。

- ・弘前住宅ローンセンター（弘前営業部内）
Tel.(0172)32-7191
- ・八戸住宅ローンセンター（八戸支店内）
Tel.(0178)47-6931

偽造・盗難カード犯罪防止に向けて

お客さまの大切な預金をお守りするために、キャッシュカード犯罪防止に向けて、セキュリティの強化に努めております。

平成18年5月には偽造が困難なICキャッシュカードとして、「みちのくICキャッシュカード」および「Michinoku Card（クレジット一体型ICキャッシュカード）」を取扱開始し、さらに、平成19年2月より「指静脈生体認証機能」の取扱を開始しております。「指静脈生体認証機能」は、お客さまの身体的特徴（手の指の静脈パターン）の情報をATM（現金自動預払機）取引の都度照合して本人確認を行うもので、キャッシュカードの偽造、盗難等による不正な預金払い出しの防止に極めて有効です。



クレジット一体型
ICキャッシュカード



預金・ローン商品のラインナップ強化

個人のお客さまのライフサイクルに合わせた様々なニーズにお応え出来るよう、預金商品、ローン商品について、新商品の開発やサービス向上に積極的に取り組んでおります。



ソリューション営業部の強化



弘前ソリューション営業部

4拠点の「ソリューション営業部」は、事業性資金に関する各種コンサルティングによるソリューション提供を通じて、中堅・中小企業支援に積極的に取り組んでおります。

- ・青森ソリューション営業部 (本店営業部内)
Tel.(017)774-1261
- ・弘前ソリューション営業部 (弘前営業部内)
Tel.(0172)32-8151
- ・八戸ソリューション営業部 (八戸支店内)
Tel.(0178)47-6933
- ・函館ソリューション営業部 (函館支店内)
Tel.(0138)23-8107

6行共同企画「上海経営者交流会」の開催

平成19年11月に山陰合同銀行、肥後銀行、鹿児島銀行、十八銀行、荘内銀行と共同で、中国上海市において、お取引先の中国進出支援およびお取引先同士の交流を目的とした6行共同「上海経営者交流会」を開催しております。



交流会では、既に中国進出を果たした日系企業の講演会、個別商談会などが行われ、個別商談会においては、参加したお取引先と中国企業の商談が成立するなど、お取引先のビジネス拡大に貢献しております。

『青森の正直』展示商談会』の開催

青森県などと連携し、平成20年2月に『青森の正直』展示商談会』を東京にて開催しております。



本商談会への参加を通じて、お客さまに、新たなビジネスチャンスを提供するなど、事業拡大のサポートに努めております。

産学連携協力

地域の新規事業シーズの発掘貢献と相互の発展を目指して、八戸工業大学、弘前大学、八戸工業高等専門学校と連携協力に関する協定を順次締結しております。



弘前大学調印式

今後も、産学との連携を強化し、地域経済の発展に努めてまいります。

ビジネスローン

“ふるさと応援団「地域の力（愛称）」”

中小企業および個人事業主向けのビジネスローン“ふるさと応援団「地域の力（愛称）」”を取扱しております。



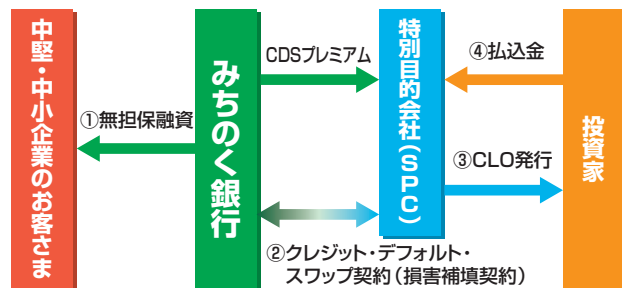
本商品は、青森県信用保証協会と共通モデルを利用した保証協会付融資商品で、ご利用対象となるお客さまの範囲も広く、ご返済負担に余裕を持たせた資金調達が可能な点が特徴となっております。

みちぎんCLO融資

地元中堅・中小企業の成長支援を目的に、中小企業金融公庫の証券化支援業務スキームを活用した「CLO（ローン担保証券）融資」による、資金供給を実施しております。

「CLO融資」は貸出債権を証券化して投資家へ販売することにより、市場から資金調達を行う手法です。証券化された中堅・中小企業向け債権プールの信用力により資金調達を行うことで、担保不要・第三者保証人不要の融資をご利用いただけます。

●みちぎんCLO融資スキーム



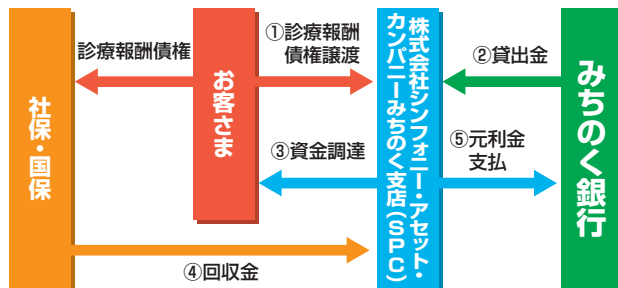
診療報酬債権流動化

お取引先の資金調達手段の高度化や多様化、また、オフバランスニーズによる資産圧縮ニーズ等にお応えするため、債権流動化業務を行っております。

その一環でお取引先である医療機関との間で、診療報酬債権の流動化を実施しております。

荘内銀行、東北銀行、北都銀行との4行で連携し設立した有限責任中間法人を活用し、お客さまへのサービスを提供しております。

●診療報酬債権流動化スキーム



格付け取得仲介サービス

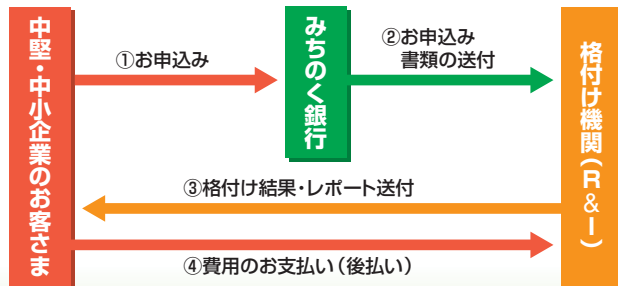
平成20年4月より、「R&I中堅企業格付け」と「日本SME格付け」の取得仲介業務を開始しております。

当行は外部格付けの取得を希望する企業（年間売上5億円～100億円程度の企業）に対して、外部格付けの内容等について説明を行うとともに、提携先である格付け機関に取り次ぎします。

格付け機関は、過去の決算書をもとに、信用力を7段階（aaa～ccc）で評価します。

外部格付け取得は、企業にとって自社の信用力や安定性・透明性等を取引先・顧客にアピール出来るといったメリットがあります。

●R&I中堅企業格付けスキーム



トピックス

青森支店 全面リニューアル

当行青森支店を、平成20年2月12日に全面リニューアルオープンしております。

お客さまがより便利に、より快適にご利用いただけますよう、投資信託・保険などの資産運用、事業性融資やローン専用の相談ブースを合計8室設置しております。また、ATMコーナーの混雑の緩和を目的に、ATMを増設、また、お客さまの大切な財産をお守りする全自動貸金庫を設置しております。



自己株式の取得・消却 ～株主還元策～

平成19年11月19日から平成19年12月21日までに、東京証券取引所における市場買付により、自己株式944万株を取得しております。

また、平成20年5月19日には自己株式500万株の消却を実施し、平成20年5月20日から平成20年9月19日までの期間において、上限250万株の自己株式の取得を行っております。この自己株式の取得および消却により、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行し、株式価値の向上を図っております。

金融商品取引法等への取り組み

平成19年9月30日に金融商品取引法等が施行され、より一層の投資家保護が求められていることから、当行ではお客さまの知識、ご経験、財産の状況、投資目的等に沿った金融商品の提案が出来るよう、販売・勧誘態勢の強化を図っております。

【主な取り組み】

- ・顧客保護態勢を強化するため、「コンプライアンス統括部」内に「金融商品管理室」を新設しております。
- ・金融商品の販売・勧誘にあたり、一層の説明態勢を充実するため、外部資格を有する職員のうち、行内研修を受講し、かつ行内試験に合格した者を、金融商品販売担当者として限定・任命しております。

市場金融部 東京オフィスの開設

クレジット・ポートフォリオ運用に係る戦略情報拠点として、平成19年11月に「市場金融部東京オフィス」を開設しております。(東京支店に隣接)

市場性貸出債権への投融资、クレジット関連の金融商品への投融资、ファンド投資等を通して、青森本部と一体となって市場ポートフォリオ運用の強化を図っております。



財務諸表

※財務諸表（単体・連結）の各表は、一部の科目を省略して表示しております。

単体財務諸表

● 貸借対照表

（平成20年3月31日現在）

（単位：百万円）

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	39,300
コールローン	87,084
買入金銭債権	9,119
商品有価証券	72
金銭の信託	19,996
有価証券	425,614
貸出金	1,259,962
外国為替	452
その他資産	6,687
有形固定資産	12,582
無形固定資産	1,345
繰延税金資産	19,878
支払承諾見返	13,976
貸倒引当金	△30,759
資産の部合計	1,865,313
(負債の部)	
預金	1,732,427
コールマネー	60
借入金	13,800
外国為替	240
社債	15,000
その他負債	5,809
子会社前受金	3,005
賞与引当金	1,256
退職給付引当金	10,041
役員退職慰労引当金	146
睡眠預金払戻引当金	576
偶発損失引当金	184
再評価に係る繰延税金負債	940
支払承諾	13,976
負債の部合計	1,797,464
(純資産の部)	
資本金	24,167
資本剰余金	19,775
利益剰余金	31,628
自己株式	△3,783
株主資本合計	71,788
その他有価証券評価差額金	△4,097
繰延ヘッジ損益	△217
土地再評価差額金	374
評価・換算差額等合計	△3,939
純資産の部合計	67,848
負債及び純資産の部合計	1,865,313

● 損益計算書

（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額
経常収益	49,231
資金運用収益	35,748
（うち貸出金利息）	29,830
（うち有価証券利息配当金）	5,264
役員取引等収益	5,638
その他業務収益	2,018
その他経常収益	5,826
経常費用	45,801
資金調達費用	5,563
（うち預金利息）	4,768
役員取引等費用	4,449
その他業務費用	553
営業経費	26,969
その他経常費用	8,265
経常利益	3,430
特別利益	2,785
特別損失	2,063
税引前当期純利益	4,152
法人税、住民税及び事業税	159
法人税等調整額	2,025
当期純利益	1,967

単体財務諸表

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(平成20年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	39,334
コールローン及び買入手形	87,084
買入金銭債権	9,119
商品有価証券	72
金銭の信託	19,996
有価証券	420,513
貸出金	1,261,568
外国為替	452
その他資産	6,978
有形固定資産	12,846
無形固定資産	1,346
繰延税金資産	19,877
支払承諾見返	13,976
貸倒引当金	△34,630
資産の部合計	1,858,537
(負債の部)	
預金	1,725,305
コールマネー及び売渡手形	60
借入金	5,500
外国為替	240
社債	15,000
その他負債	9,771
賞与引当金	1,279
退職給付引当金	10,044
役員退職慰労引当金	146
睡眠預金払戻引当金	576
偶発損失引当金	184
繰延税金負債	0
再評価に係る繰延税金負債	940
支払承諾	13,976
負債の部合計	1,783,025
(純資産の部)	
資本金	24,167
資本剰余金	19,775
利益剰余金	30,954
自己株式	△3,798
株主資本合計	71,099
その他有価証券評価差額金	△4,096
繰延ヘッジ損益	△217
土地再評価差額金	374
為替換算調整勘定	286
評価・換算差額等合計	△3,652
少数株主持分	8,064
純資産の部合計	75,511
負債及び純資産の部合計	1,858,537

● 連結損益計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
經常収益	50,871
資金運用収益	36,433
(うち貸出金利息)	30,001
(うち有価証券利息配当金)	5,599
役員取引等収益	6,350
その他業務収益	2,192
その他經常収益	5,894
經常費用	47,609
資金調達費用	5,451
(うち預金利息)	4,854
役員取引等費用	3,871
その他業務費用	602
営業経費	28,512
その他經常費用	9,171
經常利益	3,261
特別利益	2,396
特別損失	2,089
税金等調整前当期純利益	3,568
法人税、住民税及び事業税	233
法人税等調整額	1,819
少数株主利益	180
当期純利益	1,336

● 子会社および関連会社

(平成20年3月31日現在)

(株)みちのくサービスセンター	銀行事務代行業務
(株)みちのくオフィスサービス	労働者派遣業務
みち銀総合管理(株)	不動産の売買・所有・賃貸および 不動産の管理業務
みちのく信用保証(株)	住宅ローン等に係わる信用保証業務
Michinoku Preferred Capital Cayman Limited	優先出資証券発行に付随する業務 (特別目的会社)
北日本財務(香港)有限公司	銀行業(清算手続中)
みちのくカード(株)	クレジットカード業務
みちのくキャピタル(株)	投資業務

株式の状況・株式のご案内

●株式の状況（平成20年3月31日現在）

- ◆発行可能株式総数 300,000千株
- ◆発行済株式の総数 155,895千株
- ◆株主数 14,692名

●株式のご案内

- ◆事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ◆定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- ◆定時株主総会の基準日 毎年3月31日
- ◆配当の基準日
 - ・期末配当 毎年3月31日
 - ・中間配当 毎年9月30日
- ◆1単元の株式の数 当行の1単元の株式の数は、1,000株となっております。
- ◆公告の方法 当行の公告方法は、電子公告といたします。
なお、電子公告は当行のホームページに掲載しております。
- ◆株式事務取扱場所
 - ・株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

- ・同事務取扱所（郵便物送付先・電話照会先）
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
（証券代行事務センター）
中央三井信託銀行株式会社証券代行部
Tel. (03) 3323-7111（代表）
- ・同取次所 中央三井信託銀行株式会社 本店・全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

◆株式取扱手数料

株式名義書換	無料
分割、汚損、毀損、失効による新株券交付	株券1枚につき262円（税込）
株券喪失登録申請	申請1件につき9,030円（税込） 株券1枚につき525円（税込）
不所持株券の交付	株券1枚につき262円（税込）
単元未満株式の買取り	売買手数料相当額を買取単元未満株式の数で按分した額
単元未満株式の買増し	売買手数料相当額を買増単元未満株式の数で按分した額

住所変更等に必要な各用紙ご請求は、フリーダイヤルまたはホームページで24時間受付しております。

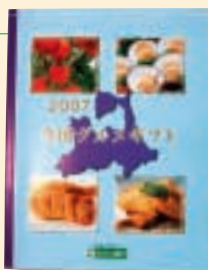
フリーダイヤル 0120-78-2031

ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株主優待制度

株主の皆さまに、カタログギフト「郷土名産品を含む全国グルメギフト」の中から、ご希望の品を選択出来る「株主優待制度」を実施しております。

- ・1,000株以上 3,000円相当
- ・10,000株以上 5,000円相当



ホームページのご案内

ホームページにて、常時情報を発信しております。

ぜひ一度当行ホームページをご覧ください。



<http://www.michinokubank.co.jp/>

家庭の銀行



THE MICHINOKU BANK,LTD.

<http://www.michinokubank.co.jp/>

平成20年6月発行

みちのく銀行経営企画部 広報室

〒030-8622 青森市勝田1-3-1 Tel.(017)774-1111



みちのく銀行は、環境への取り組みに関する国際規格ISO14001の認証を、
本店および全営業店で取得しております。



この冊子は環境保全のため、再生紙と大豆油インキを使用しております。